

## 令和2年度第4回米子市保育所給食運営委員会会議概要

1 開催日時 令和3年3月18日(水)午後3時～午後3時50分

2 開催場所 米子市役所 第2庁舎 2階 第1会議室

3 出席者 (敬称略)

[米子市保育所給食運営委員会委員]

池口委員長、長尾委員、新宮委員、中村委員、三宅委員、石田委員、石委員、亀尾委員、  
三穂野委員、(欠席：永見委員)

[事務局]

井上担当課長補佐

4 会議の次第

1 開会

2 議事

(1) 令和2年度下半期保育所給食調理等委託業務評価について

(2) 保育所給食調理業務実施状況について

(3) 令和3年度保育所給食運営委員会事業計画

3 その他

4 閉会

5 議事の概要

(注 資料説明は省略してあります。また、発言は要約してあります。)

委員長 お忙しいところお集まりいただき感謝します。

今年度最後の運営委員会です。保育所給食の運営につきまして今までご意見をいただいていたところですが、引き続きよろしくお願ひします。

事務局 資料1について説明。

委員長 資料1について質問はないか。

委員 園によって事故発生の状況が違うので、根本的な原因がどこにあるのかということを知るために年度の終わりに事故発生状況一覧を資料につけてほしい。

何か起こった時に園長にすぐ報告できない体制では心配である。きちんと事務局で指導、あるいは委託業者に研修に行くなど必要ではないか。

委員長 時期の明言は今できないが、基本的な研修を実施する必要がある。

報告は全くできていないわけではなく、園長からするともっと早く報告がほしいということ。

委員 何かあったら園長へすぐ報告し、指示を仰がなければならないのではないか。委員からすれば、それができていないのは心配である。

委員長 園長が課題を感じてそれをありのまま評価票に記入しているので、改善できないといけない。

園長から繰り返し指導しているが、園長の考えるレベルまで達していないことは問題。

委員 園長の総評の書き方についても、自身のことも振り返って記入する必要があるのではないかと。園としてこうだったという園長自身のことも含めた反省が大切だと思う。

委員長 全ての園長へ園長の役割、責任について、園長会で周知する。

委員 事故「0」にしようというのを全園で共通理解していないといけないと思う。

委員 総評を記入することによって、頭の中を整理して次につなげていくことができる。この会に委員として出席しているのは、全園で共通理解できるように園長会で伝えることが任務だと思っているので、きちんと伝える。

委員 一年のことをどう振り返って、どう改善していくのか、園長会で話し合ってもらいたい。

事務局 資料2について説明

委員長 資料2について質問はないか。

委員 気を付ければ防げる事故を起こしてしまった。発注時そもそもの計算が違っていた。今まで奇跡的に事故がなかったが、園長としてきちんと監督ができていなかった。園長会でも注意喚起する。

委員長 発注ミスは防げることなので反省してあらゆる可能性を考えて次に起こらないようにする。

委員 提供数が少なかった場合、代替りのものは出さないのか。

委員 今回は全く提供できなかったわけではなく、アレルギー対応のこともあり、慌てると事故につながる可能性があるため提供しなかった。

事務局 提供できなかったものがどのようなものであるか、その量などにより、園によっては、アレルギーチェックの終了している菓子や、その日の材料で提供できるものを提供することもある。

委員 事故は未然に防げたことが多いが、保護者への説明は全園でしているのか。

委員長 園長が責任をもって、掲示等しているが、保護者への説明を掲示等したかどうか、報告書に書くように指導する。今回の報告書にも、対応についての欄に追加で記載する。

委員 報告書は時系列に書いてあるが、適当に取り繕っているような感じを受ける箇所がある。

委員長 報告書の時間について、時計を逐一みているわけではないと思うが、なるべく正確に報告してもらおうように周知する。

事務局 資料3について説明

第2回の視察の時の試食については、その時に対応を考えることとする。

委員長 資料3について質問はないか。

特になし

委員 保護者会等で公立保育園の給食が素晴らしいと一人でも多くの人に伝えてほしい。

事務局 今年度の運営委員会は以上。ありがとうございました。